

2021 (R3) 年度 学 校 評 価

学校法人信濃キリスト教学園
幼保連携型認定こども園
大町幼稚園

当幼稚園のホームページにて同学校評価を公表しています。HPアドレスは次の通りです。

<http://www.omachi-yochien.com>

1 教育方針・教育目標の理解

◆2021 年度の取り組み

- 教育方針（いつくしみの保育）と教育目標（元気な体・優しい心・考える力）の理解を深め、保育内容に活かす。
- 幼稚園はキリスト教保育を基盤とした教育方針を、分かりやすく伝えているか。
保護者アンケート（Q1）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.0 ）

- 礼拝を通して子どもたちと優しい心・言葉とは？と考えました。
- 再度確認し、活かしていきたい。
- 補助の先生と子どもの様子を共有しながら一人ひとりに向き合う姿勢で保育できた。
- 幼稚園の良さである広いグラウンド、周囲の環境（散歩）をもっと有効に利用し元気な体、考える力を育てたかった。来年度は、実力もつけ子どもの様子を見ながら活用していきたい。
- 自主休園により出席の日数の影響で個人の成長の差が出てしまったので、元気な体を念頭に活動したが至らなかった園児もいる。考える力は少しのチャンスでも有効に保育に行かせたと思う。
- 常に教育目標を頭に、子どもたちに接することを心掛けた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.7 ）

- 礼拝に参加できず共有は難しかった。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4 ）

- 教職員一人ひとりが、キリスト教保育を実践しようと努力している。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

コロナ対策のため、参観を減らさなくてはならず、幼稚園生活が見えにくい中での一年でした。
次年度はオミクロン株の特性を理解し、with コロナで行事を実施します。

2 キリスト教保育

◆2021 年度の取り組み

- A・教師自身見えないものに目を注ぎ、「あたたかなまなざし」で子どもを受け入れるキリスト教保育の学びを深める。
- B・日々の礼拝やキリスト教の行事を通して、大切な人間関係の基礎を育てることを目指す。

◆評価と分析

A (教師の評価 4点満点中 平均点 2.9)

- ・三学期から子どもたちにお祈りをしてもらいました。見えないもの、ここにはない友だちに対して祈る姿がありました。(年中)
- ・全体の保育から、支える保育へと立場が変わり、支援が必要な子の声にならない思いを見ようとじっくり向き合うことができた。
- ・子ども一人ひとりに「あたたかなまなざし」を向けることを意識した。
- ・自分自身も子どもたちも、「ありのまま」でよいということを心におき、接することができた。
- ・「子どものありのままの姿を受け入れる」ことが大切だと一年を通して学んだが、実践することの大変さ、集団生活においての一人ひとりの気持ちを尊重することの難しさに悩むことが多かった。
- ・職員会でキ保の話を園長先生や主任から聞き学んだが、コロナ禍で後半機会が減ってしまった。
- ・今年度はたくさん研修があり学びを深めることができた。

B (教師の評価 4点満点中 平均点 2.8)

- ・聖書、絵本、紙芝居を通して一緒に学び考えました。
- ・相手の思いを感じながら過ごしたと思う。キリスト教の教え「愛といつくしみ」についてもっと伝えることができたかもしれない。
- ・子どもと一緒に考えながら聖書の話をした。もう少し聖書を開けたらよかった。後半は礼拝堂で礼拝ができ良かった。
- ・未満は集中力が短いため礼拝の回数が少なかったが、後半合同礼拝がない分クラスで礼拝をすればよかった。
- ・子どもたち一人ひとりにできる限りの愛情をもって過ごした。
- ・日々の保育の中での礼拝の話や流れに工夫が必要だと思う。子どもたちに伝えたいことは何なのかを明確にすることは大切だと思う。

(保護者の評価 評価対象なし)

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.5)

ズームによるキリスト教研修会に積極的に参加し理解を深めている。もっと教会に来てほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

3 少人数保育

◆2021 年度の取り組み

- A・教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする。
- B・あたたかなまなざしの保育を通して、子どもたちは、安心感を抱き、愛されていることを感じている。
- C・幼稚園は教師との信頼関係を通して安心して生活できる環境づくりをしていると思いますか？（保護者アンケートQ2）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.3 B 3.5 ）

A

- ・連絡漏れがあったため、しっかり共有していきたい。
- ・保育者の中で子どもの様子等情報を共有し日々の保育に活かした。一人ひとりの役割をはたせたと思う。
- ・副担とクラスの様子を共有し、子どもたちや保護者への理解を深め、情報共有し合いながら保育をすることができた。
- ・クラス内ではしっかり話し合いができたが、後半、他のクラスの様子がわからず残念だった。
- ・副担と補助で配慮の必要な子の分担をし、全体の流れが止まることのないよう努めた。

B

- ・その子のために、今何ができるのかを一緒に考え保育しました。
- ・あたたかなまなざしで保育することを意識していたが、配慮の必要な子どもに対して、勉強不足で援助の難しさを感じた。自分自身もっと経験を積んでいく中でどんな子どもも安心でき、愛されていると感じられる保育をしたい。
- ・スキンシップと「大好きだよ」の言葉と態度で愛情を十分注ぐことができたと思う。
- ・初めての集団生活の場として、安心して過ごすことができるようにプラスの声掛けをした。
- ・一人ひとりの思いをできる限り受け止め、見守り安心して園生活が送れるように常に心がけた。

（保護者の評価 C 4点満点中 平均点 3.7 ）

C

- ・一人一人をよく見ていただいています。
- ・今までのように先生達とゆっくり話すことができず寂しかったが、その中でも一生懸命笑顔で迎えてくれる先生方に元気をもらいました。
- ・先生方の風通しいのいい園だと思う。
- ・親子ともども愛を感じありがたいです。
- ・園長先生をはじめ先生方に暖かく見守っていただき本当にありがとうございます。

- 毎日楽しく通園しています。先生も友達も大好きです。ありがとうございます。
- 先生方に家庭の困っていることを相談することができ、前向きに楽しく過ごせていることに感謝です。
- 毎日楽しく幼稚園に通っています。給食、先生、友だちが大好きで安心してます。
- 三人の子どもをここで育て「子どもとしっかり向き合うことの大切さ」、「子どもを愛し信じること」を教えていただいた大町幼稚園での5年間は私の宝ものです。本当にありがとうございました。
- 子どもの多い我が家で色々助けていただいています。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

一人ひとりによく行き届いた保育をしている

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

C

あたたかなコメントをいただきありがとうございます。いろいろあった一年でしたが、教職員一同次年度も頑張ります。

4 戸外遊びの充実

◆2021年度の取り組み

A・戸外で友だちと思いきり身体を動かして遊ぶことを通して元気で丈夫な体作りをする。

(保護者アンケートQ3)

B・楽しく充実した遊びを通して、一人ひとりの園児が主体的に活動し、創造力を養い、自分で判断したり、行動したりすることができるように育てる。

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.8)

A

- ・できる限り外に出ることを大切にしてきた。切り替えができない子がいたため、室内遊びから始め、前もって時間を伝えることで安心して一緒に片付けができ外に行ける時間が増えた。
- ・限られた環境と時間の中だったが、遊びの時間を大切に過ごせた。特にお楽しみ保育では自然に触れる体験ができ、季節ごとの楽しみ方(雨の散歩、紅葉)ができた。
- ・自分自身が先立って、体を動かし遊ぶことによって子どもたちも一緒に動いて遊ぶことができた。
- ・園庭利用がクラスごととなり、外に出る時間が減った時期があった。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8)

A

- ・体操教室の参観日に外で思いきり元気に体を動かしていた時、子どもがニコニコで楽しそうだった。
- ・コロナや休園など度重なる困難がありましたが、園庭をクラスで時間割を作って確保してよかった。
- ・たくさん体を動かし、いろいろなことを教わりたくましく育ちました。
- ・以前行っていた「はだしの生活」を復活させてほしい。(夏場から秋)
- ・コロナが落ち着いたら、以前のように異年齢で遊んでほしいし、泥遊びしてほしい。

B(教師の評価 4点満点中 平均点 B 2.8)

- ・子どもたちの遊んでいる遊びの捉え方が難しかったが、「遊びの発表会」を取り入れることで、遊びの幅が広がり発展していく様子が見られた。
- ・基本的に子どもの「やりたい」を大切に遊ぶ環境を整えたので、子どもが主体的に遊び込めていたと思う。
- ・遊びの中で子ども同士が話し合っって遊びを発展させる姿があった。
- ・夏の水遊び、冬の雪遊びは子どもたちと十分楽しめた。きっかけを作ることでそこから子ど

もたちの遊びが広がっていくのが見えた。工夫したり、ああしよう、こうしようという動きがたくさんあった。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

はだし保育について

当園では意図的にははだしで過ごす時期を設けていました。コロナ禍で対応ができませんでした。が、今年度は何らかの形で行う際におたよりでお知らせします。

5 表現あそび

◆2021年度の取り組み

- A・感じたことや考えたことを表現する豊かな感性を育む。
- B・歌やリズム表現・製作活動などを通して、自分らしくのびのびと表現したり、友だちと合わせたりする喜びを味わえる環境作りをする。
- C・幼稚園では歌やリズム表現・製作活動などを通して、子どもたちがのびのびと表現を楽しむ環境作りをしているか。(保護者アンケートQ4)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.1 B 3.0)

A

- ・劇や合奏の中で子どもの感じたことを大切にしたいと考えたが、コロナで全員集まらず、みんなで考えることができず、残念だった。
- ・気持ちを言葉に表すのが難しい年齢なので、表情カードを使ったり、具体的な気持ちを伝えあったりし、動物になりきって動き回る遊びを取り入れ自己表現ができるようになってきた。
- ・部屋に手作りコーナー(廃材をたくさん準備)を作ることで、子どもたちが目的を持って取り組む姿があった。友だちの作っているものをヒントに自分らしい作品を作り上げようとする子どもが多くいた。

B

- ・子どもからやりたいとの声が多くあった、やりたいと言えるものを増やせたことが良かった。
- ・限られた時間と人数の中でできるよう計画した。子どもが主体となって準備すること、考えることを大切にして、子どもたちも表現を楽しんでいたと思う。
- ・毎日手遊びや歌を楽しみ、制作も子どもたちの「やりたい」を表現できていたと思う。
- ・無理にやらせるではなく周りの楽しむ姿にやりたくなるよう工夫した。
- ・思い出会は自主休園や園庭のみ遊びにくる子たちのために、「みんなで安心して合わせられる」映像をYoutubeで配信し、オクレンジャーの映像をみて自宅で練習できるよう環境を整えた。
- ・もう少し多くの歌、ダンスを取り入れたらと思う。
- ・のびのび表現したり喜びを感じることができるよう経験をたくさん積めるようにしたい。
- ・コロナ禍で、やることが限られたり、自主休園している子供も多くいたため、クラス全体の活動は十分できなかった。

(保護者の評価 C 4点満点中 平均点 3.8)

C

- ・発表会などクラスが一つになり素晴らしいと思います。

・年明け以降、まん延防止措置の際できる限り自主休園で家での保育を促すオクレンジャーが流れたのに、園生活の動画が配信され本当は行きたいのにお休みしている子どもの気持ちをどう考えているのか疑問に思いました。星組の発表は本当に必要だったのでしょうか？子どもたちの最後の思い出が「発表すること」ではなく友だちと一緒に役になりきって演じたり、合奏したりという「楽しみ」であってほしいです。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

コロナによる行事の変更で表現遊びを発表する機会が減り残念であった。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

3学期のオクレンジャー（動画配信）について

配信の意図が保護者の方へしっかりと伝わっていなかった。次年度は丁寧に伝えていきたい。

6 安全教育

◆2021 年度の取り組み

- 避難訓練、交通安全指導、健康安全指導を通して安全に対応する意識を高める。
- 幼稚園は避難訓練や交通安全指導等を計画的に実施して、子どもの安全に対する意識を高めていると思いますか。（保護者アンケートQ5）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.1 ）

- 散歩など日常生活でも活かすことを務めた。登園の際保護者の方にも手をつなぐなど気を付けてもらえるといいと思う。
- 特に衛生管理に関しては、意識しながら過ごした。散歩に出かけたときは交通安全に意識が向くようになっていたと思う。
- 避難訓練では子どもたちが理解しやすいようにイラストカードなどを使って説明すればよかった。
- 感染対策に真剣に取り組んだ。避難訓練の放送が怖い子どもに声掛けをし安心して行動できるようにした。
- 毎年十分取り組める項目だが、今年度はコロナにより集まることができず避難訓練ができず残念だった。
- 子ども達が安全に関する話を聞く機会も多く、身につけてきたと思う。
- コロナ禍で、散歩を通しての交通安全指導はなかなかできなかった。休園や自主休園など休みが続いて生活リズムが崩れている子どもも多く課題が残る。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8 ）

コロナ対応について

- コロナ禍で大変な中、子どもたちを第一に考え、子どもの成長とともに向き合って下さり感謝しています。
- コロナにより親子共々、幼稚園生活そのものが不完全燃焼でした。が、コロナの対応を最大限に対応して下さりありがとうございます。
- コロナの中でもその時々で一番子どもにとって最善の方法と教育を考え対応していただき感謝の念につきません。
- コロナの影響で行事の行い方や休園への対応など、先生方も大変だったと思います。悩みながらも園児のことを考えて安全安心な保育を継続していただけることに感謝です。with コロナの対応を検討してほしいと思います。

- 健康チェックの体温を1日2回にした方がいいと思う。小学校は昨年度中に対応しています。夜だけの発熱に気づきやすくなると思う。クリスマス会の祝会はとても密で心配だという保護者の方もいました。場所の工夫が必要かと思う。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

特にコロナに気を付けた保育が出来ていた。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

7 食育

◆2021年度の取り組み

- A・食事のマナーを通して、左右の優位性、指先の発達、姿勢の保持など体の健全育成を図る。
- B・感謝する心・畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち、感謝する心を育てていると思いますか。
- C・幼稚園は栄養バランスやカロリーを計算した自園給食を通して、何でも喜んで食べる子どもを育てていると思いますか。（保護者アンケートQ6）
- D・幼稚園は畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち感謝する心をそだてていると思いますか。（保護者アンケートQ7）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.9 B 2.8 ）

A

- ・今年度は黙食しなくてはならず、マナーよりも楽しく食べられたか不安があります。
- ・スプーンの持ち方、箸の持ち方、姿勢の保持、お皿を持つなど丁寧に伝えることができた。
- ・子どもたちは黙食を頑張っていたと思う。早くコロナが収束（希望は終息）し、おしゃべりも楽しみながら食事ができればと思う。
- ・コロナ禍、給食の先生と子どもがコミュニケーションをとるのが難しかった。大好きな給食の先生に感謝の気持ちを最後伝えられてよかった。
- ・年少では無理なくスプーンとフォークを用意してもらったことで食べることを楽しむことを優先することができた。指先を使う遊びを増やし箸に移行できる手伝いができればよいかな？
- ・個別に対応しなくてはいけない子どもが多く、十分配慮できなかったと思う。黙食は小さいながらによくできていたと思う。

B

- ・ジャガイモ栽培を初めて行い、掘ることの難しさや楽しさを共有し制作にも活かせたと感じる。
- ・クッキングは少ししかできなかったが、畑で育てた野菜をお楽しみ保育時に味わうことができた。
- ・お楽しみ保育で味わうことを狙いに活動していたのでねらいに添った活動ができた。
- ・プランター野菜の栽培を通して、子どもたちが毎日水やりを楽しむ様子や成長に驚いたり喜んだりする様子を見ることができた。
- ・きゅうりとトマトは苦手な子がそれらを育てることで食べられるようになり食育になった。
- ・サツマイモを楽しく掘った時、畑から出てきた子ネズミのお母さんを探す姿が印象的で思いやりを感じた。
- ・野菜作りを通して苦手な野菜も食べてみようという気持ちが育っていたと思う。コロナ禍、子どもが自分で調理することができず残念だった。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 C 3.9 B 3.8)

C

- 幼稚園の給食が大好きで家では食べないものをおかわりすると聞きうれしいです。
- 毎朝給食の先生に「今日の給食は何ですか？」と聞くのが楽しみでした。忙しいのにありがとうございました。
- 家の食事より給食の方がおいしいといえます。野菜も上手に食べられるよう調理してくださっていると思う。
- 給食のおかげで家でも食べる量が増えてうれしいです。
- 調理の先生と園児の交流の状況を知れたらうれしい。

D

- 野菜を作ることは子どもにとって、とても良い影響だと思う。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

毎日子どもたちのことを考えたおいしい給食を提供している。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的

8 家庭との連携

◆2021 年度の取り組み

- ・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりや電話等で知らせ理解を得る。
- ・幼稚園はクラスや子どもの様子や保育のポイントなどを日々の会話やクラスだより、電話、オクレンジャー、動画配信、ホームページ等で分かりやすく知らせていると思いますか。（保護者アンケートQ8）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.1 ）

- ・保護者一人ひとりにわかりやすい説明ができるスキルが必要だと思った。
- ・保護者の方も協力的で困っていることを共有することができたので、一緒に伸びていける力を見つけられた。
- ・自主休園が長かった分（人数も多かった）休んでいる子どもと保護者の方とコミュニケーションの取り方が難しかった。
- ・細かな成長の部分を上手に伝えられないことが多かった。自分の思いや意図を伝える難しさを実感した。来年度は伝え方に注意をしたい。保護者の悩みに寄り添えるような知識を身に着けたい。
- ・コロナ関係その他の連絡でオクレンジャーはとても役に立ったと思うが、回数が増え緊張感がなくなってしまった。あまりに長い文章のため携帯画面で読むことで内容が十分理解されていないと思った。
- ・3学期コロナ禍の動画配信では子どもの様子を伝えられてよかった。しかし、「クラスごとのねらい」を持つ難しさと「自主休園で休む子どもにどう伝えるのか」を読むことが難しかった。
- ・今年は登降園時に担任が園児対応をした。保護者と話せてよかった。
- ・担当する子どもに関しては話し合う時間を作り、細目に様子を伝えることができた。会えない保護者にはノートを利用すればよかった。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.7 ）

- ・毎日先生からその日の話を聞けるし、園フォトを通じて園の様子がよくわかる。動画の配信もあるがもう少しあるといい。
- ・毎週クラスだよりが出るのは日々の子どもの活動や様子が分かってありがたい。子どもが体調を崩し休んだ時も担任から気遣いの電話をもらい親子ともどもうれしかった。ホームページも親子で楽しく見えています。写真もこまめにアップしていただきうれしいです。
- ・今年度は行事の運営のみならず、普段の保育も大変だったと思う。年長の思い出会については動画配信したものをDVDで販売してほしい。

- 保護者の意見をしっかり受け止めてくれて、子どもたちのために一生懸命ありがとうございました。
 - オクレンジャーでの細かな連絡ありがとうございます。
 - 一日の流れも簡単にわかるとうれしいです。
 - 毎回お昼寝できなかったと言われ納得ができなかった。家庭の状況も考慮に入れてほしい。
- (学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4)

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

思い出会（星組のみ動画配信にて）

動画配信をDVDで販売してほしいとの要望を受け、そのように対応させていただきました。
ご意見ありがとうございました。

一日の流れ

クラスだよりでお伝えします。

お昼寝の件

保護者の方との会話を大切に、子どものためにも向き合えるよう、担任と主任が連携して保護者の気持ちを考えた対応ができるように努めていきたいと思えます。

9 子育ての支援

◆2021 年度の取り組み

- 未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする。
- 幼稚園は子育ての支援をしていると思いますか？（預かり保育、夏の預かり保育、未就園児の園開放、子育て相談など）（保護者アンケートQ9）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 2.5 ）

- 今年度はコロナ禍で未就園児への園開放が少なかった。兄弟関係だけでなく、外部の方々への周知の仕方や宣伝の方法等工夫していきたい。
- 回数が減ったのは仕方がない。22年度は土曜日も園開放とのこと、様々な工夫をしている。
- 外部の人がいききたいと思える園開放の体制を考え直したい。（内容・時間・申し込み法など）

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8 ）

- コロナ禍で帰省が難しいため、長期休みの預かりがあるとうれしい。
- コロナ禍なので仕方がない
- やむを得ない面もあるが、一号認定だからと預かり保育ができない時期があった。
- コロナ対策で仕方がなかったと思うが、園庭解放やこひつじ広場で10組限定は人数枠が小さい。別日を設けて来てもらう方が良かったと思う。（とても素敵な園なので、たくさんの人に見てもらいたかった、個人的な意見です

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

園開放自粛の趣旨として

- 外からの感染を防ぎ、幼稚園での学びの場を守る事を大切にしました。
- 園庭解放とこひつじ広場については「できない」ではなく、できる可能性のある対策を考えるべきでした。次年度は力を入れていきたいです。
- 密を避けるために一号認定のお子さんの預かりに制限が多かったが、再度検討したいと思います。

10 幼稚園運営

◆2021年度の取り組み

A・日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る。

B・年間計画・月案・週案・日案等を通して、計画的に保育に当たる。

◆評価と分析

A（教師の評価 4点満点中 平均点 2.9 ）

- ・連絡帳を早めに返すことで、保護者の方の心配が減るように感じた。
- ・すべて必要であり、効率化は難しかった。
- ・保育記録を書く時間がなく十分にできなかった。縦割りの際の効率化は難しい。
- ・人数も少なかったため昨年よりは効率的に仕事をすることができた。
- ・自分のやりたいことと時間があっておらず、残業をしてしまった。が、作業効率を上げる点は一番頑張った点で、効率化できたと思う。次年度も頑張りたい。

B（教師の評価 4点満点中 平均点 2.6 ）

- ・日々変化する子どもたちに合わせ保育した。
- ・計画はもちろんだてていたが、子どもの様子によって活動を変えたり追加したりすることが多かったので、様々な子どもの様子を予測し幅広く計画をたてたいと思う。
- ・コロナで変更も多い中、子どもたちの成長を願い、先生がたが日々の子どもの姿を見て計画し、保育を頑張っていたと思う。
- ・先生方が忙しい中ちゃんとやっていてよいと思う。
- ・関係機関のモニタリングの目標を共有し、保育に当たった。

（保護者の評価 保護者の評価項目の対象外）

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 4 ）

子どもの数が減少する中、いろいろ努力している。特に金銭面。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

認定こども園になり働き方改革により書類等の効率化を行ってきました。

しかし、子どものために自分がやりたいと思うことは、残業届けを出して丁寧に仕事をしていきたいと思えます。